

開 講 学 科	建築学科	実務家科目	前橋工科大学 シラバス			
		—				
科 目 名	建築設計基礎 II	標準対象年次	選択／必修		科目コード	
		1 年次	必修		14000201	
担当教員	石川 恒夫、吉垣内 英子 (全回、全教員出席のもと指導)	単位数	学 期	曜 日	時 限	
		2 単位	後期	火曜日	3, 4 時限	
授業の教育 目的・目標	建築設計基礎 I に続けて行う、図面の描き方を会得するための実習。2 年次以降始める設計演習で学生自ら設計したものを、図面化する基礎的な能力をつけさせる この授業は、鉛筆（ホルダー等）を用いてケント紙に手描きで図面を描き、わかり易い表現のために図面自体の構成を考える習慣 をつけさせる。また、図面と同様に建築模型のつくり方も、コミュニケーションの道具として重要なものとして指導する。木造建築物の一般図を読み、描く能力、さらに構造図を読む力をつけることを目標とする。					
学科の学修・教育 目標との関係	建築に関わる生活の豊かさ、人間の健康、地域社会、環境について考えた空間を創造することができる。					
キーワード	設計図、製図、作図、平面図、断面図、立面図、配置図、断面詳細図、トレース、模型、空間、身体、スケール、木造架構、寸法、構法					
授業の概要	住吉の長屋（コンクリート造）、9 坪ハウス（最小限住宅、在来木造）などを題材として、建築模型（軸組模型、ホワイト模型など）の製作をすることで図面以外のコミュニケーション手法を学ぶ。その後再び図面の描き方について指導する。設計課題内容は年度によって変わる。					
授業の計画	第 1 回：	前期作業の振り返り＋思い起こし、夏休み課題のチェック、即日課題など 平面図				
	第 2 回：	木造建築物の作図法について解説 木造建築物(上田実験棟)の平面図の練習1 断面図＋詳細図基礎1回目				
	第 3 回：	木造建築物(上田実験棟)の平面図の練習2 詳細図基礎2 回目				
	第 4 回：	木造建築物(上田実験棟)の立面図、断面図の練習3(1/50) 伏図(小屋、基礎)＋				
	第 5 回：	模型作業開始、補足説明(窓、ドアまわり、棟木補強など)				
	第 6 回：	模型作成作業				
	第 7 回：	BIOSK軸組模型完成、フロータージュ、伊勢のビデオ視聴、9坪ハウス等資料配布 平面など作図練習(フリーハンド)				
	第 8 回：	模型作成(最小限住居)				
	第 9 回：	最小限住居アイソメ図、伏図の作図練習				
	第 10 回：	最小限住居 in 前橋(9坪ハウス)の設計課題出題。内容・条件、スケジュール				
	第 11 回：	平面・断面エスキース(全員チェック)				
	第 12 回：	エスキースチェック(全員)、マイクロ・アーキテクチャ訳文提出				
	第 13 回：	設計作業(希望者スタディチェック)。納まりなど適宜補足あり。				
	第 14 回：	設計作業(希望者チェック)、納まりなど適宜補足あり。				
	第 15 回：	最小限住居 in 前橋 提出・発表・講評				
受講条件・ 関連科目	建築設計基礎 I を履修していること。 関連科目：建築計画I、建築材料、バウビオロジー I					
授業方法	課題出題時に作図方法を解説し、それに従い実際に図面作成を行う。担当教員、T. A. が授業時間内、学生各個人の作図、設計案に直接指導する。					
テキスト・参考書	参考書；建築のしくみ（丸善）、 木造の詳細 1 構造編（彰国社） コンパクト建築設計資料集成（丸善）、建築製図（朝倉書店）授業内でその都度参考テキストを紹介する。					
成績評価	・ 期末試験（ % ） ・ レポート（ % ） ・ その他（課題提出物 100% ）					
履修上の注意	受け身ではなく自発性をもって授業にのぞみ、授業中に毎回、作図、作図のチェック、設計案のチェックを行うので必ず出席し、教員の指示に従い提出物を用意すること。 課題の提出期限を必ず守ること。 基本の製図用具、模型用具の忘れ物のないようにすること。 製図室に各自の製図台を割り当てて作業を行っていくが、製図室の整理整頓、美化に務めること					